

【3.研修国（キルギス共和国）概要】

キルギス共和国基本情報

（データ出所は＊以外はキルギス国家統計委員会。/（注）＊2022年 国勢調査に基づく推計）

- （１）地勢：旧ソ連中央アジアの南東部に位置し、北部国境を
カザフスタン、南をタジキスタン、西をウズベキスタン、東を
中国に接する。天山山脈に連なる高地が国土の80%を占める
山地国家。
- （２）面積：19万9,900 km²（日本の約半分）
- （３）人口：690万人（2022年8月初現在）＊
- （４）首都：ビシュケク市（107.4万人/2021年初）
- （５）主要都市：オシ（32万人）、ジャラル・アバド（12万人）、カラコル（8万人）（2021年初）。
- （６）民族：キルギス人（73.7%）、ウズベク人（14.8%）、ロシア人（5.1%）、ドゥンガン人（1.1%）、
ウイグル人（0.9%）、タジク人（0.8%）など（2021年初）。
- （７）言語：キルギス語（チュルク語系の言語）。ただし、ロシア語も広範に使用される。
- （８）宗教：キルギス人、ウズベク人はイスラム教スンニ派、ロシア人はキリスト教のロシア正教。
（Japan-Kyrgyz Network for Investment Environment Improvement より）



キルギスは1991年の独立後、中央アジア諸国の中でもいち早く民主化、市場経済化を推進しましたが、金以外の有力産品の不在や投資環境の未整備等により、十分な外口投資を誘致できなかったことから安定した経済成長の軌道に乗れず経済は停滞しています。JICAは、市場経済化に基づく経済成長を通じた貧困削減促進を支援の目標とし、経済成長のための基盤整備として主に運輸インフラ整備、農業・農村開発、市場経済化に資する人材育成の分野で協力を実施しています。
（JICA キルギス HP より）

